

ユーシン

景況レポート

Number.94
(2017.10~12月期)

結城信用金庫

■ このレポートは、当金庫のお客様231企業(回答企業224企業)について、景気の現状と今後の見通しを調査したものです。

調査結果のあらまし

卸売業・不動産業を除く4業種で改善

10月~12月期の概況

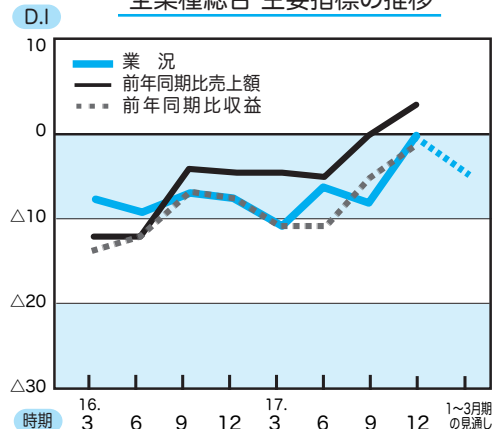
茨城県西地域の中小企業の業況判断D.I(「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標)は0.0と、2017年7~9月期(前期)の調査より8.2ポイント改善しました。

業種別では、卸売業で前期比3.2ポイント、不動産業で同11.7ポイント低下しましたが、製造業は前期比4.1ポイント、小売業は同15.5ポイント、サービス業は同31.1ポイント、建設業は同8.3ポイントそれぞれ改善となりました。項目別では、売上判断D.Iが9.4と前期比13.0ポイント、収益判断D.Iは3.1と同11.7ポイントともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは3.1、前期比3.1ポイント、同収益判断D.Iは△1.8、同3.7ポイントともに改善しました。

雇用面では、人手過不足D.Iが△17.5と前期比0.7ポイント低下し、人手不足感がやや強まりました。また、前期比残業時間D.Iは6.3と同5.4ポイント改善しました。借入金の動きや借入難易度では、「借入した」が前期比4.9ポイント増加となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が40.6%、「売上の停滞・減少」が30.8%、「利幅の縮小」が21.4%で上位となり、前期と同様の課題が挙げられました。

全業種総合 主要指標の推移



1月~3月期の見通し

業況の見通し判断D.Iは△4.0、実績比4.0ポイント低下の見込

来期は、不動産業以外の業種で低下を見込んでいます。項目別では、売上判断D.Iが当期実績比10.3ポイント、収益判断D.Iは同7.1ポイントともに低下、販売価格判断D.Iは同5.0ポイント低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比1.8ポイント改善、また、残業時間D.Iは同4.1ポイント低下の見通しとなっています。

当面の重点施策でも、「経費の節減」が48.7%、「販路を広げる」が44.6%、「人材を確保する」が25.4%と上位になり、前期と同様の結果となりました。

景況天気図

〔この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました〕

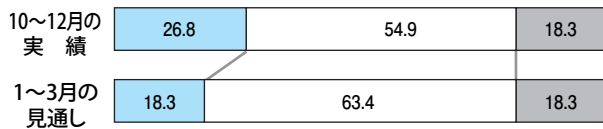
業種名	時期	29年7~9月	29年10~12月	30年1~3月見通し	概	要
総合					業況判断D.Iは、8.2ポイント改善し0.0。来期は、4.0ポイント低下し△4.0の見通し。	
製造業					業況判断D.Iは、4.1ポイント改善し8.5。来期は、8.5ポイント低下し0.0の見通し。	
卸売業					業況判断D.Iは、3.2ポイント低下し△6.5。来期は、3.2ポイント低下し△9.7の見通し。	
小売業					業況判断D.Iは、15.5ポイント改善し△24.5。来期は、2.3ポイント低下し△26.8の見通し。	
サービス業					業況判断D.Iは、31.1ポイント改善し13.8。来期は、6.9ポイント低下し6.9の見通し。	
建設業					業況判断D.Iは、8.3ポイント改善し11.4。来期は、5.7ポイント低下し5.7の見通し。	
不動産業					業況判断D.Iは、11.7ポイント低下し△11.7。来期は、17.6ポイント改善し5.9の見通し。	

好調 ← → 低調 / 業況改善 業況悪化 業況変化なし

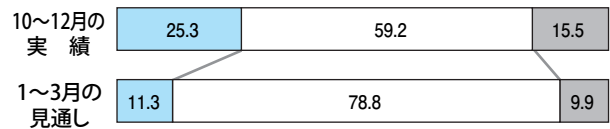
■ 製造業

回答企業数71企業(回答率98.6%)

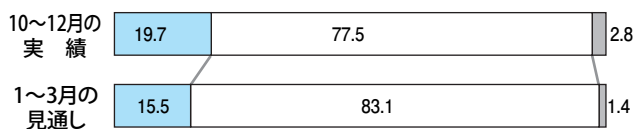
【業況】



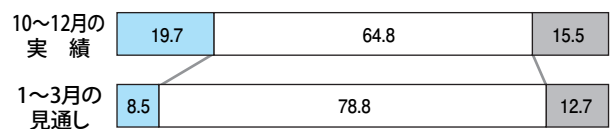
【売上額】



【原材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加(良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

10月~12月期の概況

業況判断D.Iは8.5、前期比4.1ポイントの改善

項目別では、売上額判断D.Iが9.8と前期比2.8ポイント改善、収益判断D.Iは4.2と同横ばいとなりました。また、前年同期比売上額判断D.Iは9.9、前期比4.2ポイント、同収益判断D.Iは4.2、同7.1ポイントともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△12.7と前期比8.4ポイント改善し、人手不足感がわずかに緩和しました。また、前期比残業時間D.Iも12.7と同2.8ポイント改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が29.6%（前期26.8%）、「予定あり」が11.3%（前期21.4%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は18.3%（前期20.0%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が36.6%、「売上の停滞・減少」が25.4%、「利幅の縮小」・「原材料高」がそれぞれ21.1%と上位に挙げられました。

1月~3月期の見通し

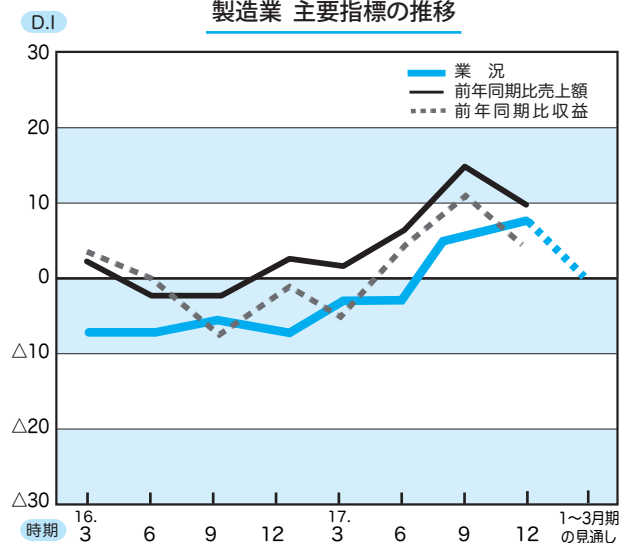
業況の見通し判断D.Iは0.0、当期実績比8.5ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比8.4ポイント、収益判断D.Iは同8.4ポイントともに低下、販売価格判断D.Iも同1.4ポイント低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比4.2ポイント改善、残業時間D.Iは同7.1ポイント低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が54.9%、「経費の節減」が49.3%、「人材を確保する」が29.6%と上位に挙げられました。

製造業 主要指標の推移



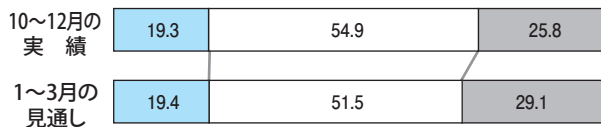
調査員のコメントから

外部専門機関等を利用しながら、お取引先の課題や問題点の解決策を提案する伴走型の支援を行っていく。

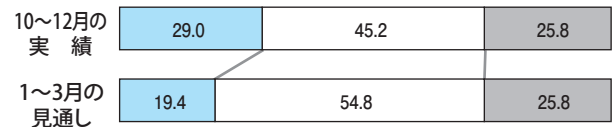
■ 卸売業

回答企業数31企業(回答率93.9%)

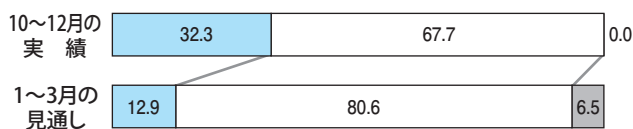
【業況】



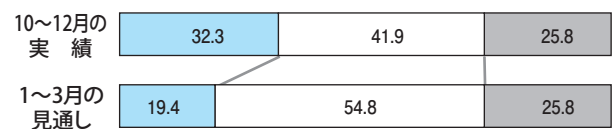
【売上額】



【仕入価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い)
 ■ 変わらず(変化無し)
 ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

10月~12月期の概況

業況判断D.Iは△6.5、前期比3.2ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが3.2と前期比12.8ポイント、収益判断D.Iは6.5と同12.9ポイントともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは0.0、前期比6.5ポイント、同収益判断D.Iも0.0、同6.5ポイントともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△16.1と前期比12.9ポイント低下し、人手不足感がやや強まりました。また、前期比残業時間D.Iは6.5と同13.0ポイント改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が38.7%（前期29.0%）、「予定あり」が19.4%（同19.4%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は12.9%（前期12.9%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が48.4%、「売上の停滞・減少」が35.5%、「利幅の縮小」・「取引先の減少」がともに19.4%と上位に挙げられました。

1月~3月期の見通し

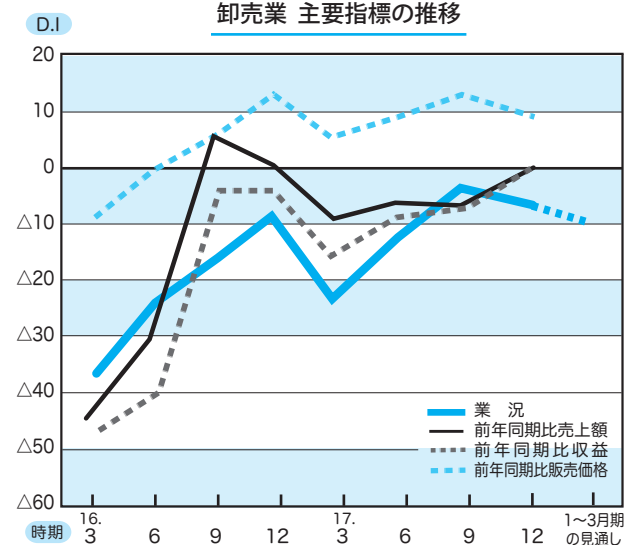
業績の見通し判断D.Iは△9.7と当期実績比3.2ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比9.6ポイント、収益判断D.Iは同12.9ポイント、販売価格判断D.Iも同16.2ポイントそれぞれ低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは当期実績比3.2ポイント改善、残業時間判断D.Iは同6.5ポイント低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が93.5%、「経費の節減」が45.2%、「情報力の強化」も45.2%と上位に挙げられました。

卸売業 主要指標の推移



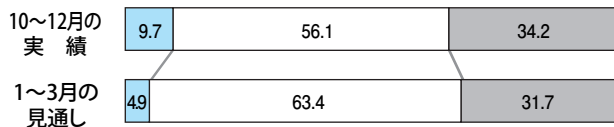
調査員のコメントから

株価上昇など景気回復のニュースはテレビ・新聞等で目にするが、実際、地方の中小零細企業にはその影響を実感することがない。

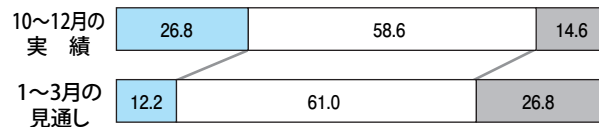
■ 小 売 業

回答企業数41企業(回答率100%)

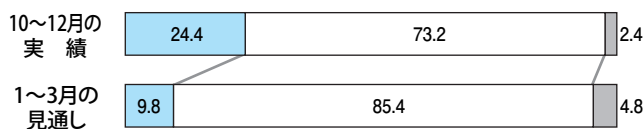
【業 況】



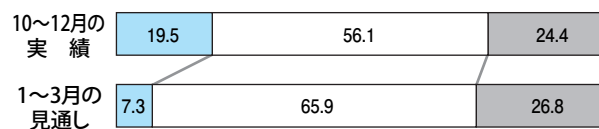
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

10月~12月期の概況

業況判断D.Iは△24.5、前期比15.5ポイントの改善

項目別では、売上額判断D.Iが12.2と前期比34.7ポイント、収益判断D.Iは△4.9と同32.6ポイントともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは0.0、前期比5.0ポイント、同収益判断D.Iは△14.6、同12.9ポイントともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△15.0と前期比2.5ポイント改善し、人手不足感がわずかに緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは△2.5と前期比2.5ポイント改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が34.1% (前期27.5%)、「予定あり」が17.1% (前期20.0%) を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は12.2% (前期10.0%) となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が43.9%、「同業者間の競争激化」が41.5%、「大型店との競争激化」が24.4%と上位に挙げられました。

1月~3月期の見通し

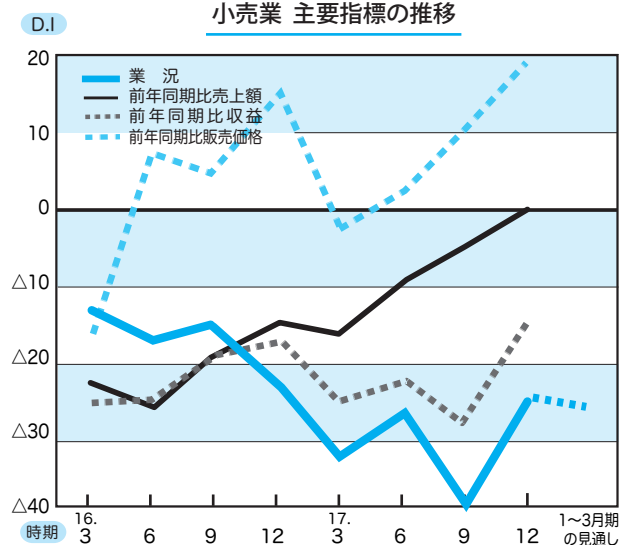
業況の見通し判断D.Iは△26.8、当期実績比2.3ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比26.8ポイント、収益判断D.Iは同14.6ポイント、販売価格判断D.Iは同14.6ポイントそれぞれ低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは当期実績比2.5ポイント改善、残業時間判断D.Iは同5.0ポイント低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が53.7%、「売れ筋商品の取扱」が29.3%、「品揃えを改善する」が26.8%と上位に挙げられました。

小売業 主要指標の推移



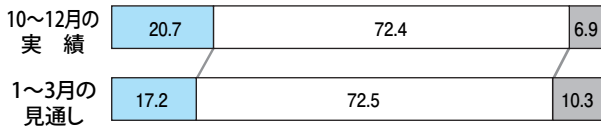
調査員のコメントから

売上は前年同程度で推移しているが、利用客の高齢化に伴い利用頻度が減少することを懸念している。

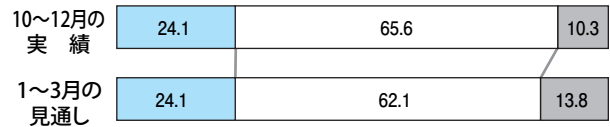
■ サービス業

回答企業数29企業(回答率93.5%)

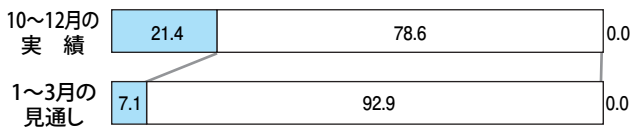
【業況】



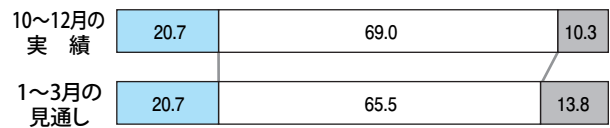
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加(良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

10月~12月期の概況

業況判断D.Iは13.8、前期比31.1ポイントの改善

項目別では、売上額判断D.Iが13.8、前期比27.7ポイント、収益判断D.Iは10.4と同27.6ポイントともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは0.0、前期比13.8ポイント、同収益判断D.Iも0.0、同13.8ポイントともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△10.3と前期比横ばい、前期比残業時間D.Iは△0.0と同13.8ポイント改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が13.8%（前期17.2%）、「予定あり」が10.3%（前期3.4%）を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は17.2%（前期10.3%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が34.5%、「同業者間の競争激化」が27.6%、「利幅の縮小」・「材料価格の上昇」がそれぞれ24.1%と上位に挙げられました。

1月~3月期の見通し

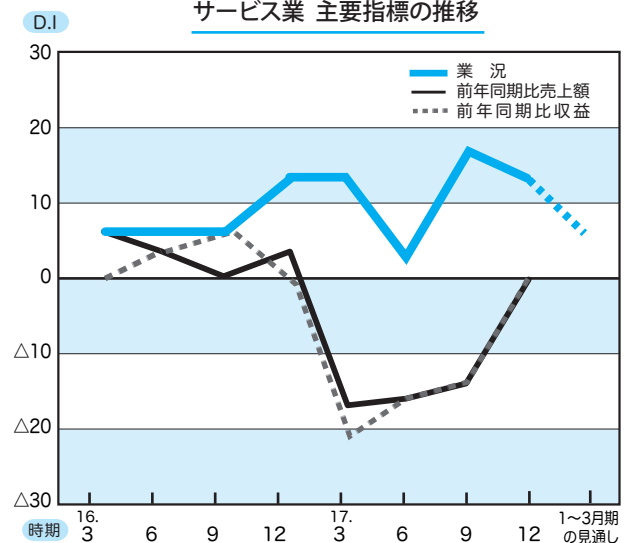
業況の見通し判断D.Iは6.9、当期比6.9ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比3.5ポイント、収益判断D.Iも同3.5ポイントそれぞれ低下を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比14.3ポイントの下降を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比3.5ポイント低下、残業時間判断D.Iは同3.4ポイント改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が51.7%、「販路を広げる」が34.5%、「人材を確保する」が27.6%と上位に挙げられました。

サービス業 主要指標の推移



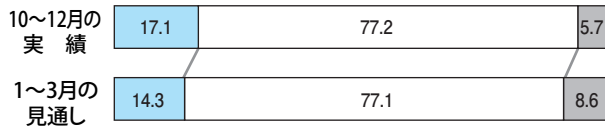
調査員のコメントから

人材育成と人材確保が今後の事業継続において最も重要な課題である。

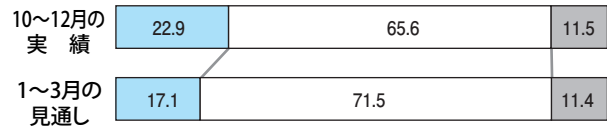
■ 建設業

回答企業数35企業(回答率97.2%)

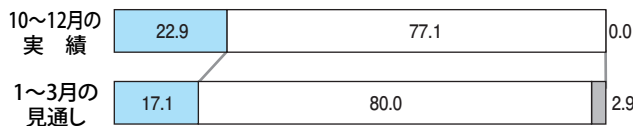
【業況】



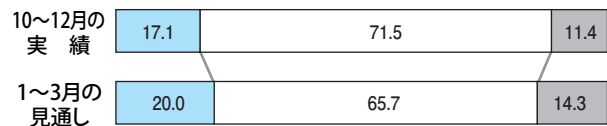
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

10月~12月期の概況

業況判断D.Iは11.4、前期比8.3ポイントの改善

項目別では、売上額判断D.Iが11.4と前期比8.4ポイント、受注残判断D.Iは11.4と同2.3ポイントそれぞれ改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは0.0、前期比横ばい、同収益判断D.Iは0.0、同3.0ポイント改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△37.1と前期比12.9ポイント低下し、人手不足感がやや強まりました。また、前期比残業時間D.Iは8.6と前期比2.5ポイント改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が40.0%（前期27.3%）、「予定あり」が25.7%（前期18.8%）を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は14.3%（前期18.2%）となりました。

経営上の問題点では「同業者間の競争激化」が48.6%、「人手不足」が42.9%、「利幅の縮小」・「材料価格の上昇」がそれぞれ22.9%と上位に挙げられました。

1月~3月期の見通し

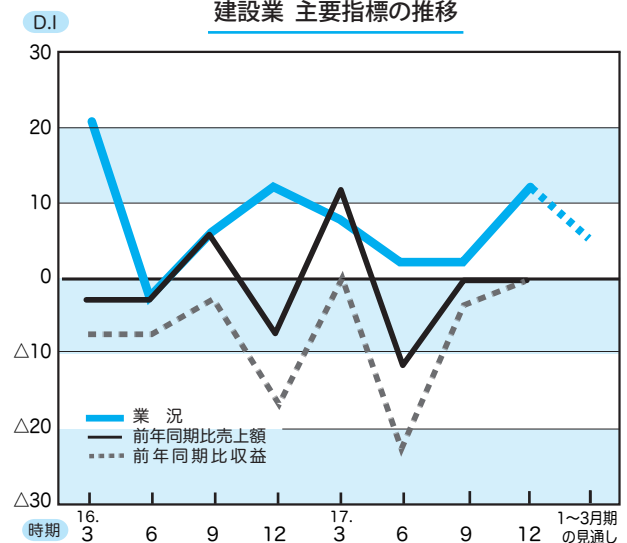
業況の見通し判断D.Iは5.7、当期比5.7ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比5.7ポイント低下、収益判断D.Iは同横ばいを見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比8.7ポイントの下降を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iも同横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が57.1%、「販路を広げる」が42.9%、「人材を確保する」も42.9%と上位に挙げられました。

建設業 主要指標の推移



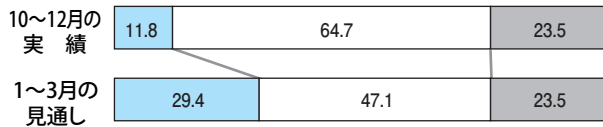
調査員のコメントから

リフォーム、リノベーションブームも落ち着いてしまい、顧客の獲得が難しい状況にある。

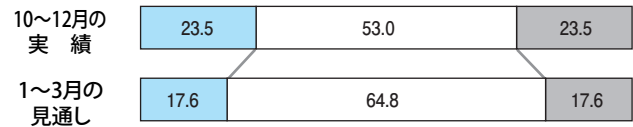
■ 不動産業

回答企業数17企業(回答率94.4%)

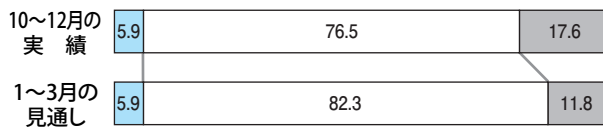
【業況】



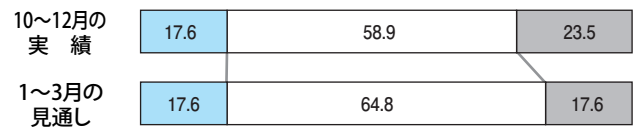
【売上額】



【仕入価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い)
 ■ 変わらず(変化無し)
 ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

10月～12月期の概況

業況判断D.Iは△11.7、前期比11.7ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが0.0と前期比12.5ポイント、収益判断D.Iは△5.9と同12.2ポイントともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは0.0、前期比12.5ポイント、収益判断D.Iは△5.9、同6.6ポイントともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△17.6と前期比1.2ポイント改善し、人手不足感がわずかに緩和されました。また、前期比残業時間D.Iは5.9と同0.4ポイント低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が23.5%（前期25.0%）、「予定あり」は17.6%（前期31.3%）を示しています。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が47.1%、「商品物件の不足」が35.3%、「売上の停滞・減少」も35.3%と上位に挙げられました。

1月～3月期の見通し

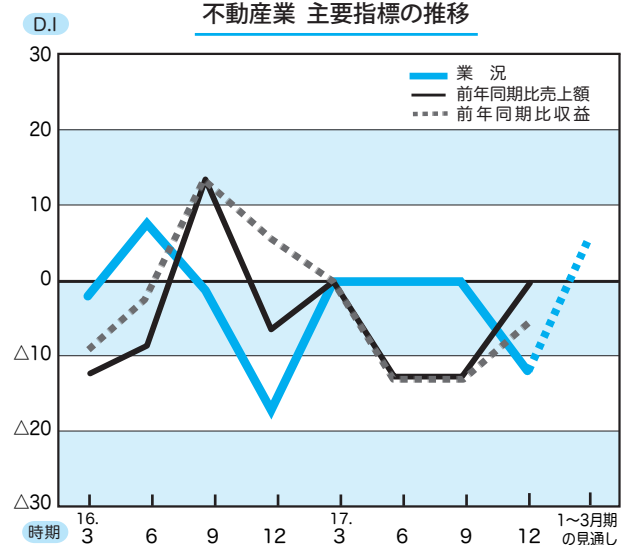
業況の見通し判断D.Iは5.9、当期実績比17.6ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比横ばい、収益判断D.Iは同5.9ポイントの改善を見込んでおります。また、販売価格判断D.Iは同17.6ポイントの改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間D.Iは同5.9ポイント低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「宣伝・広告の強化」が64.7%、「販路を広げる」が41.2%、「情報力の強化」が35.3%と上位に挙げられました。

不動産業 主要指標の推移



調査員のコメントから

賃貸物件収入は順調に推移しているが、商品物件が少なく、また、物件があっても競合が多いことから仕入価格が上昇している。

特別
調査

2018年(平成30年)の経営見通し

2018年(平成30年)の経営見通しについて調査を実施しました。

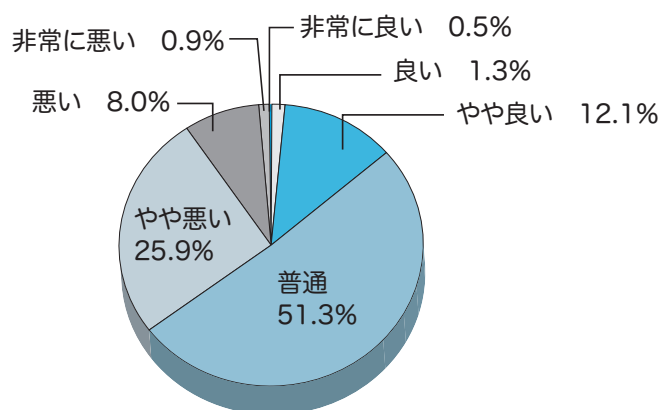
貴社では、2018年の日本の景気と自社の業況(景気)の見通しについて、また、2018年の自社の売上額の伸び率、業況が上向き転換点はいつ頃になると見通しているかについて、結果を次のように取り纏めました。

2018年の日本の景気と自社の業況(景気)を「普通」と見通している割合がともに半数以上を占める結果となりました。また、2018年の売上額の伸び率が2017年に比べて「変わらない」とする割合が54.5%と半数以上を占めております。

以下に、詳しく掲載しております。

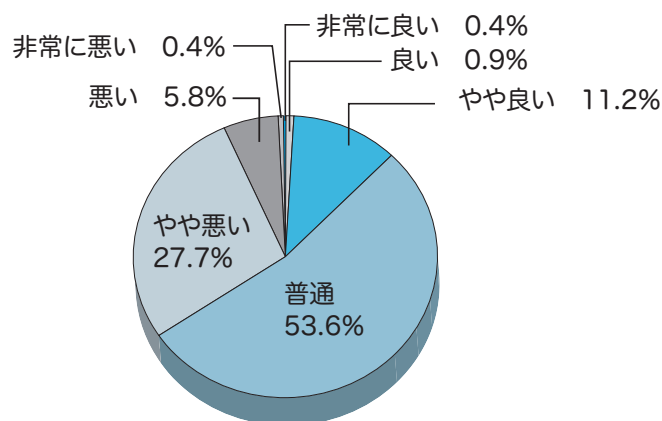
問1 貴社では、2018年の日本の景気をどのように見通していますか。

(単位:%)



問2 貴社では、2018年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。

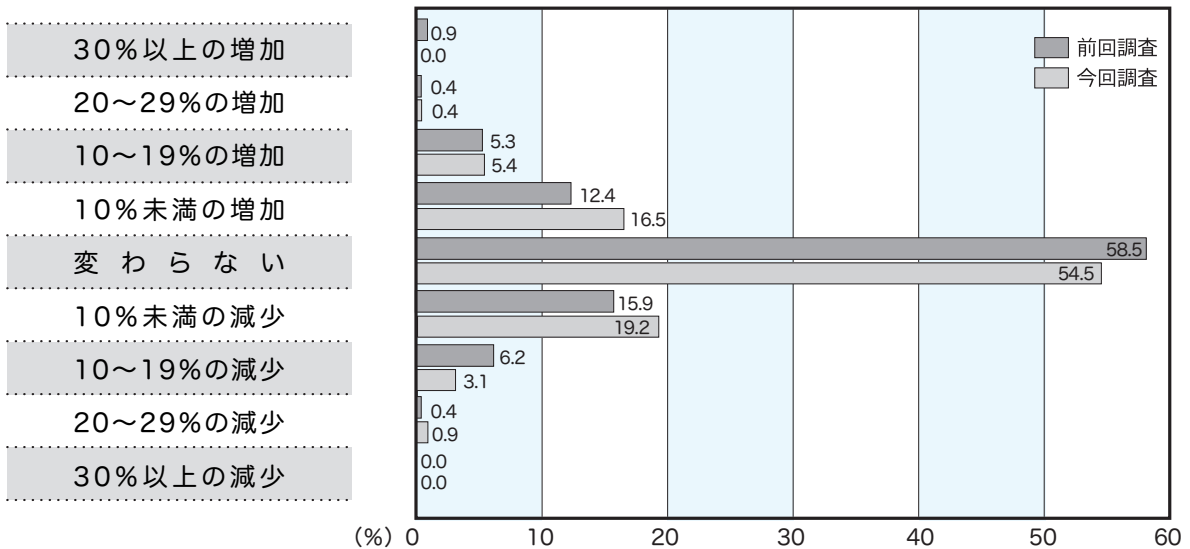
(単位:%)



問3

2018年において貴社の売上額の伸び率は、2017年に比べておおよそのくらいになると見通していますか。

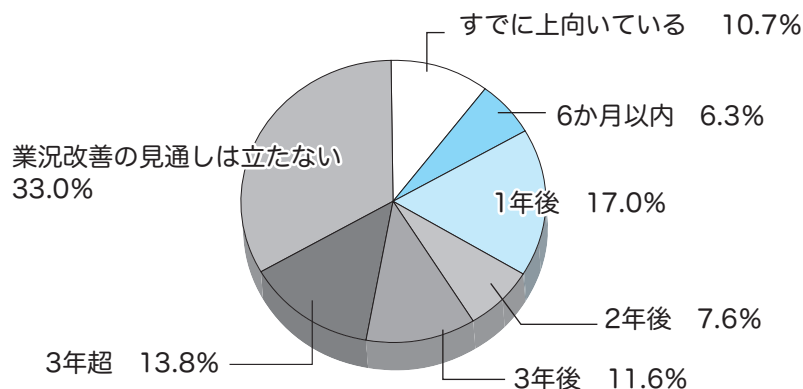
(単位:%)



問4

貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。

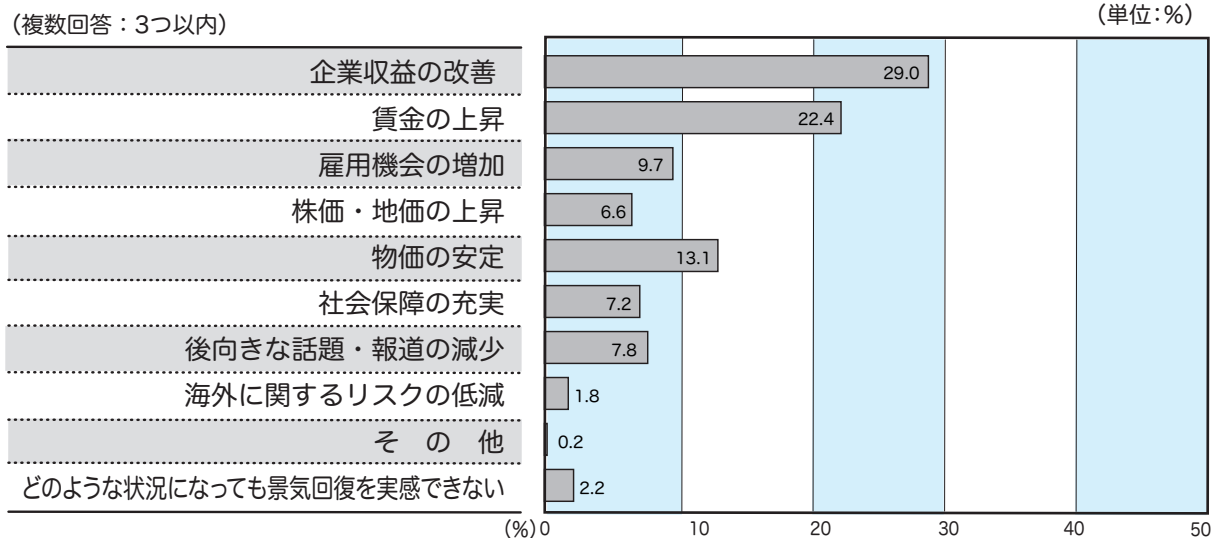
(単位:%)



問5

世間一般では、「景気回復を実感できない」という意見が広くみられるようですが、貴社では、どのような状況になれば、世の中が景気回復をより実感できるようになるとお考えですか。

(単位:%)



明けましておめでとうございます

平成30年の初春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
旧年中は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
今後とも地域社会の繁栄に向けて役職員心を一つにして
精進してまいる所存でございます。
本年もより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結城信用金庫
理事長 森 光 郎



地域活性化融資 短期間の資金もご利用できます。

「上昇機運 VII」

売上増加

経営安定

収益向上

宣言!

ユーシンは、中小企業の皆さんを応援し、
地域の活性化をサポートします。

ご融資金額：最高 5,000 万円

ご融資期間：10 年以内

お取扱期間 平成29年4月3日(月)～平成30年3月30日(金)

※審査の結果、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承下さい。
※取扱内容については、裏面をご覧ください。

詳しくはお近くの結城信用金庫までお気軽にお問い合わせ下さい。

— 後 記 —

ユーシン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。
皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部

〒307-8601 結城市大字結城557番地
TEL (0296)32-2110 FAX (0296)33-0414
Eメール yukisb@intio.or.jp http://www.shinkin.co.jp/yuki/